

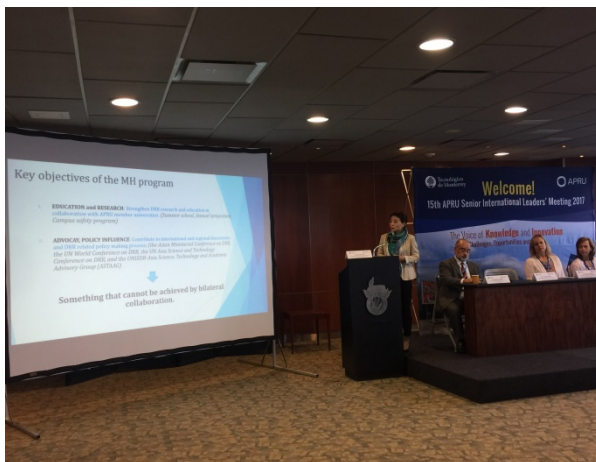
「2017APRU シニアリーダーズフォーラム」で活動報告・パネルディスカッションを行いました (2017/09/20-22)

テーマ：国際連携、APRU, マルチハザード
場所：メキシコ

9月20-22日に、メキシコのモンテレイ工科大学にてAPRU（環太平洋大学協会）シニアリーダーズフォーラムが開催され、当研究所の泉貴子特任准教授（情報管理・社会連携部門 社会連携オフィス）が出席し、2017年度のAPRUマルチハザードプログラムの活動を紹介するとともに、その後行われたパネルディスカッションに参加しました。

2017年度のマルチハザードプログラムは、サマースクールや年次シンポジウムなどの定期的な活動とともに、カリフォルニア大学デービス校やアメリカ航空宇宙局（NASA）と連携し、津波早期警報のワークショップ開催や、災害研究の現状に関する報告書をエルセビアとともに作成するなど学術機関や様々な機関と連携し活動を行っています。また、11月の世界防災フォーラムでは、様々な地域の研究者や国際機関などと一緒にテーマ別セッションを開催し、科学技術の防災への導入や学術の役割について議論する予定です。

パネルディスカッションでは、マルチハザードプログラムの政策への貢献などの活動について質問や活発な議論が行われました。今後は、マルチハザードプログラム以外のAPRUのプログラム、例えば、「グローバルヘルスプログラム」や「持続可能な都市プログラム」との連携が期待されており、「持続可能な開発目標（SDGs）」への貢献を見据えた活動が課題となります。



泉特任准教授による発表



パネルディスカッション

文責：泉貴子（情報管理・社会連携部門）